



▲2月21日のワークショップの様子。児童たちは思い思いに校章に口や手足を書き入れました

「若い頃は酒田に物足りなさを感じていましたが、子どもと一緒に帰省する度に、酒田が好きになりますね」と語る

心の原風景 酒田

「校章は地域の皆さんの思いが形となって表れたもの。そのお手伝いができてよかったですと思います」と語る佐藤さん。東京都で画家として活動する傍ら、4月に開校する平田小学校の校章制作に携わりました。

佐藤さんは高校生の時に、恩師の影響を受けて画家を志し、大学入学と共に上京しました。

「絵を学ぶ中で、作品に対して自信が持てなくなることもありました。そんな時によりどころとなったのは、ふるさと酒田。心の原風景を作品に投影することで、納得のいく作品を作ることができるようになりました」

多方面で高い評価を受ける佐藤さんの作品の多くには、どこか懐かしい酒田の風景が描かれています。



Sato Masao

今月の人 佐藤真生さん

(光ケ丘二丁目出身(東京都在住))

画家 平田小学校校章製作者

佐藤さんの表情に、ふるさとへの思いが垣間見えます。

どんな顔に見えるかな?

地域の皆さんとの話し合いの席上で「統合前の学校への愛着はあるが、それにとらわれない新しい校章を作ってほしい」と言葉をかけてもらったことから、佐藤さんは背中を押された思いで校章を作り上げたそうです。

「子どもたちのためにどんな校章がいいのかを考えました。顔のようにも見えないこの校章を見たときに「今日はどうな顔に見えるかな?」と自分の気持ちを確かめられる鏡のようなものを作りました。自分の気持ちを大切にすることが、きっと相手の気持ちも大切にできるだろうと思ったからです。校章を通じて仲良くなってくれればうれしいです」

佐藤さんの思いを受け、統合する旧東平田・中平田・北平田小の児童が、校章に口や手足を書き入れるワークショップも行われました。

春を告げる暖かい風に吹かれ、平田小学校は開校を迎えます。

【平田小学校開校式】日時/4月5日(金)午後2時~場所/同校体育館
詳しくは本紙3月1日号をご覧ください。

伝えたい酒田の味

昔ながらの酒田の味
酒田市食生活改善推進員が紹介します

35

タケノコご飯

これから旬を迎える庄内産の孟宗筍は、軟らかく歯触りも良いため、広く親しまれる春の味です。孟宗筍は、昔から地区のお祭りや行事、家での祝い事といった晴れの日によく食べられ、炊き込みご飯だけでなく、煮物や孟宗汁などさまざまな料理で楽しめます。

最近では新鮮なものが多く出回るようになったため、食べる機会も増えてきたようです。手軽にできるタケノコご飯の素なども市販されていますが、今年はぜひ旬の孟宗筍を使ったタケノコご飯を味わってみてはいかがでしょうか。



【材料】4人分

- 精白米・・・2合
- 孟宗筍(下ゆでしたもの)・・・150g
- 薄揚げ・・・1枚
- だし昆布・・・10センチ
- ニンジン・・・中4分の1本
- 酒・・・大さじ2
- シイタケ・・・2枚
- しょうゆ・・・大さじ2
- 糸コンニャク・・・50g
- だし汁

【作りかた】

- ①精白米は、洗ってザルに上げておく。
- ②ゆでた孟宗筍は、食べやすい大きさの短冊切りにする。
- ③薄揚げは熱湯に通し油抜きし、ザルに上げ冷ましてから孟宗筍の幅に合わせて千切りする。ニンジンは皮をむき、千切りにする。シイタケも千切り。糸コンニャクは一度熱湯にくぐらせ、ザルに上げ冷ましてからざく切りにする。
- ④炊飯器に①、酒、しょうゆを入れ、目盛(2合)のところまでだし汁を加える。
- ⑤②、③とだし昆布を入れて、炊飯器のスイッチを入れる。炊きあがったらだし昆布を取り出して、全体を混ぜ合わせてから盛り付ける。

食生活改善推進員からの

ワンポイント

お好みで木の芽や青のりなどの風味を足しても、おいしくいただけます。

関市観光物産課観光物産係 ☎26-5759



▲庄内平野が一望できるアイアイひらた

酒田の温泉

旅と深いつながりがある温泉。旅行商品や旅行雑誌では、一年を通してさまざまな温泉企画が取り上げられており、温泉の魅力の強さと観光客のニーズの高さがうかがえます。

本市には温泉街はありませんが、市内各地に散らばる温泉施設は、市民にとっての癒しと憩いの場になっており、疲労回復や健康増進、気分のリフレッシュなどに利用されています。

広い湯船に漬かって足を伸ばせば、疲れや緊張がほぐれ、身も心もゆったり温まります。澄んだ空気の中、空を仰ぎながら入る露天風呂も格別です。また朝からオープンしていて、目覚めのひと風呂を楽しめるところもあります。

本市の温泉施設の魅力は、温泉そのものはもちろん、自然に恵まれた景色にもあります。「間もなく新緑の季節。市内には自然を体感できる温泉があります。アイアイひらたもその一つ。入浴しながら見る日本海に沈む夕日や満天の星空は癒やされますよ」と、悠々の杜温泉アイアイひらた業務課長の阿部さんは語ります。

ようやく春を迎えました。温泉ごとに異なる景色や泉質などを体感しに、湯巡りに出かけるのもおすすめです。



▲ゆりんこの露天風呂

◆ワクワクさかた観光通信は今回で終了します。

水道まめ知識

おいしい水を届けます

24

関市水道局管理課お客さま係

☎22-1811

雪解け後の検針と漏水について

●冬期間の積雪による使用水量の認定
積雪のため水道メーターの検針ができなかった場合、以前の使用水量をもとに認定（推定）し、料金を請求しています。認定した場合「検針のお知らせ」の表面の連絡事項欄に表示しています。

●認定した料金の精算

使用水量の認定を行った場合は、雪解け後、水道メーターの指針を確認して料金を再計算します。その結果、既に支払った使用料金が、多い場合は還付し、少ない場合は次回の請求で精算します。

●日頃から漏水にご注意を

春先は漏水の発見が非常に多くなります。冬季、水道管の凍結などにより漏水が発生しているにもかかわらず、積雪で検針できないために発見されず、雪融け後の検針時に発見されるためです。

普段から水道メーターなど水道設備の点検、管理をお願いします。◆水道まめ知識は今回で終了します。

フォトギャラリー

思い出のまち 12



緑のおばさん

昭和38年4月 日吉町一丁目の厳島神社前での街頭指導の様子。新入児童の交通事故防止のため、市交通安全推進協議会によって選ばれた7人の「緑のおばさん」が、交通指導員などと協力して指導に当たっていました。現在は各小学校やコミュニティ振興会などで組織する「見守り隊」などが、登下校時の街頭指導を行っています。